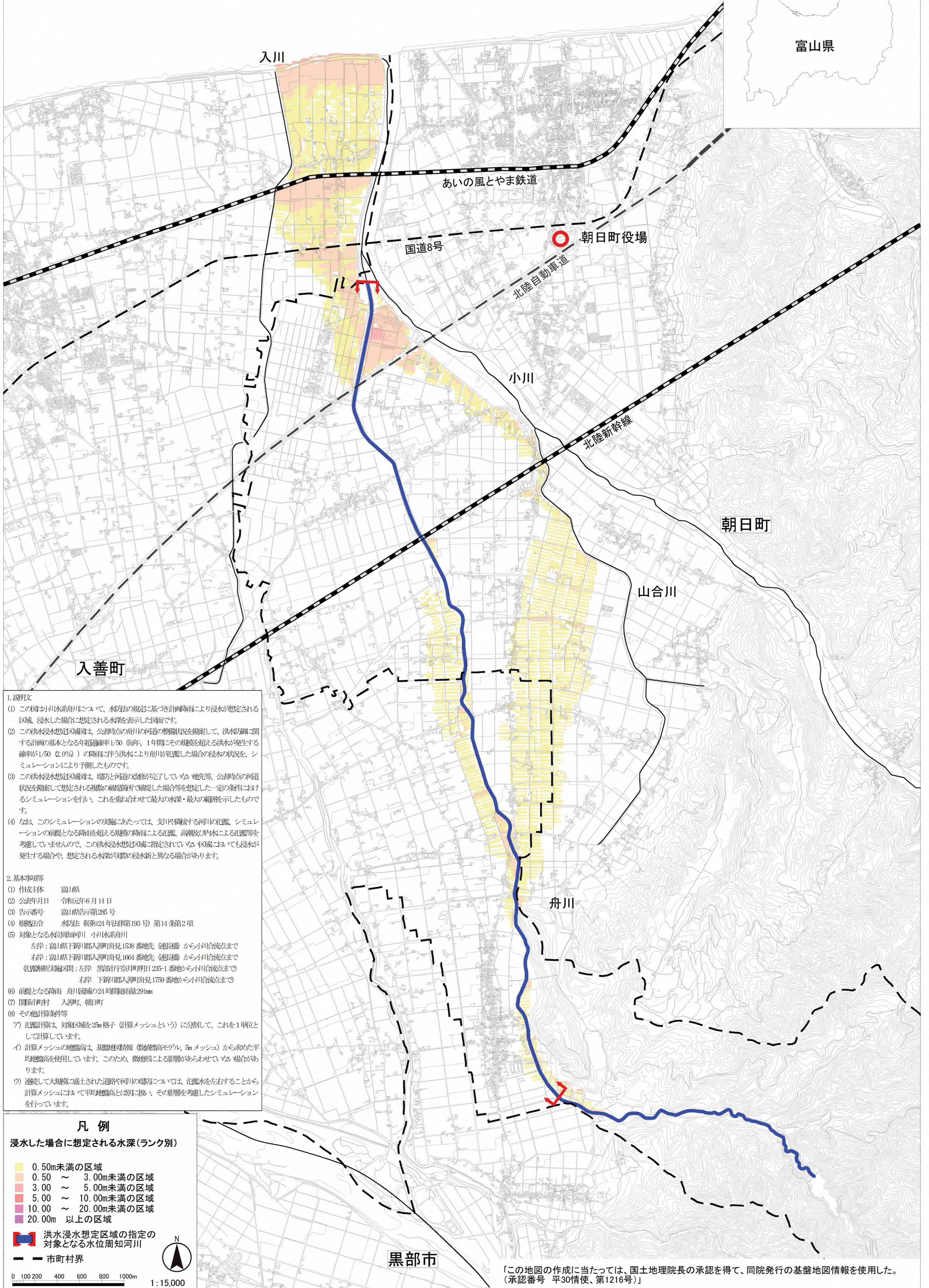


# 小川水系舟川 洪水浸水想定区域図 (計画規模)



**1. 説明文**

(1) この図は小川水系舟川において、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、公測地点の舟川の河道の整備状況を調査して、洪水防線に関する計画の基本となる年超過確率1/50（毎年、1年間この規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2.0%））の降雨に伴う洪水により舟川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

(3) この洪水浸水想定区域図は、堤防と河道の整備が完了している土地等、公測地点の河道状況を調査して想定される複数の観測箇所を想定した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の水深・最大の範囲を示したものです。

(4) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川に隣接する河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域指定されている区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

**2. 基本事項**

(1) 作成主体 富山県

(2) 公表年月日 令和元年6月14日

(3) 告示番号 富山県告示第285号

(4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項

(5) 対象となる河川等 舟川 小川水系舟川  
 左岸：富山県下新川郡入道町見1538番地先（観測所）から小川合流点まで  
 右岸：富山県下新川郡入道町見1664番地先（観測所）から小川合流点まで  
 氾濫箇所実施区間：左岸 黒部市行宗町明門235-1番地から小川合流点まで  
 右岸 下新川郡入道町見1739番地から小川合流点まで

(6) 前提となる降雨 舟川流域の24時間総雨量291mm

(7) 関係市町村 入道町、朝日町

(8) その他計算条件等

ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。

イ) 計算メッシュの地盤高は、基礎調査情報（数値標高モデル、5mメッシュ）から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわれない場合があります。

ウ) 連続して大規模に盛土された遊水地等の場合は、氾濫水を左右することから計算メッシュに比べて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

**凡例**

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.50m未満の区域
- 0.50 ～ 3.00m未満の区域
- 3.00 ～ 5.00m未満の区域
- 5.00 ～ 10.00m未満の区域
- 10.00 ～ 20.00m未満の区域
- 20.00m以上の区域

洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

市町村界

0 100 200 400 600 800 1000m

1:15,000

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第1216号）」